



Shinko Hospital  
Vol.67  
January 2013

# Medical News

Month

Shinko Hospital

## Information

Information 1

新入職員の紹介

## Medical News

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。旧年中の皆様のご指導、ご支援に感謝しております。私も神鋼会は、本年も神鋼 KOBAN COカラーのもとに、より快適な医療環境の実現を目指してまいります。

患者さんの皆様にご自由を感じることがないよう、日夜努力をつづける所存ではありますが、今年は特に以下の重要項目に積極的に取り組んでまいります。本年も何とぞよろしくお願いたします。

**外来待ち時間の短縮に取り組みます**

外来患者さんの待ち時間を少しでも短縮できるように取り組んでまいります。

① 午前中外来への患者さんが集中するために、いろいろと対策を打っております

が、いまだにご迷惑をかけることが多く、申し訳なく思っております。

特に、予約時間にお越しになっても、待ち時間が30分以上超える長時間になることが多々ある整形外科、乳腺科ではいっそうの改善努力を続けてまいります。

② 緊急対応を要する患者さんには救急センターの受容能力を増大し、より迅速に対応できるようにしていきます。

③ 午後の外来枠を可能な限り増大し、午後の紹介患者さん、予約患者さんの受入れを増やしていきます。

④ 採血待ち混雑を緩和するために、8時5分からの早朝採血を開始いたしました。

⑤ 地域の先生方からご紹介いただきましたます新規ご紹介患者さんにつきましては、当院地域医療連携室へ事前に

院長の挨拶

幹部年始の挨拶

Information

- ・新入職医師のご紹介
- ・講演会のご案内

Information 2

講演会のご案内

### ■ 第4回 KBCOG神戸市民フォーラム 患者さん向け

□ 日 時：平成25年1月12日(土) 14時00分～16時30分

□ 場 所：神戸国際会館9階『大会場』  
(神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL(078)231-8120)

- プログラム：・乳がんの検診：兵庫県立西宮病院 箕畑 順也 先生
- ・乳がんの治療：神鋼病院 山神 和彦 先生
- ・乳がん治療を受ける方のケア：神戸大学医学部附属病院 辻 サオリ先生
- ・Q & Aコーナー

□ 参加費：無料

□ お問合せ：こくぶプレストクリニック TEL：0797-85-7650

### ■ 第11回神鋼外科フォーラム 医療従事者向け

□ 日 時：平成25年1月17日(木) 18時30分～20時00分

□ 場 所：呼吸器センター・管理棟5階 大会議室  
(神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL(078)261-6739)

- 一般演題：『直腸癌多発肝転移に対する2期的拡大肝葉切除の1例』  
司会：神鋼病院外科部長 藤本 康二 先生  
演者：神鋼病院外科医長 古角 祐司郎 先生

- 特別演題：『肝移植 最近の話』  
司会：神鋼病院副院長 東山 洋 先生  
演者：東京女子医科大学 消化器外科教授 江川 裕人先生

□ 日本医師会生涯教育認定単位：1.5単位に認定されています

### ■ 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

### ■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

### 医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
TEL：078-261-6711 (代表)  
FAX：078-261-6726  
発行責任者：病院長 山本 正之  
編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦



院長  
山本 正之  
Masayuki Yamamoto

### ■ 地域医療の充実に努めてまいります

ご連絡いただくことにより迅速に予約手続きを行いますので、可能な限り予約をお取りいただくようお願い致します。

新規の患者さんには緊急対応を要する方が多いために、予約患者さんに優先して対応せざるを得ないことがあり、時に生ずる混乱を避けるためにも、よりよくお願い致します。

とりわけ中央区、灘区、東灘区医師会の先生方との地域医療連携を推進し、求められる医療に迅速に対応いたします。在宅管理をされている患者さんの急変時にも迅速対応できるように地域連携室のスタッフを増員いたします。

### ■ 病院と病棟の連携を推進してまいります

回復リハビリテーション施設、病棟と緊密に連携して、手術を受けた患者さんがより適切に社会生活に復帰できるように、病々連携を推進してまいります。



副院長  
東山 洋  
Hiroshi Higashiyama



皆様、新年おめでとうございます。  
病院は多職種の集まりです。その多角的な眼で患者さんを治療するチーム医療が、旧来の主治医制を凌駕するには必要条件があります。それはカンファランス重視です。  
カンファランス内の発言は上下関係、職種関係に左右されません。教授の診断に研修医が「ちがう」と異議を唱えても許されます。チームで1+1が2以上になるには、時間の許す限り全員出席と時間厳守が原則です。外科カンファランスは、治療方針、手術術式を決定するチーム医療の最高決定機関です。

副院長  
鈴木 雄二郎  
Yujiro Suzuki



「ゆっくり丁寧に説明すること」と「お待たせしないこと」  
皆様あけましておめでとうございます。すばらしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。  
私たちは、地域に密着した医療をすすめていく上で、今二つの大きな目標を掲げています。それは患者さんが悩んでいる病状をゆっくり丁寧に説明することとお待たせしないことです。  
ひとりの方に説明が長くなると当然次の方をお待たせすることになります。この一見相反する目標を同時に叶えるため、本年もできる限りの努力を続けてまいります。本年もどうぞ宜しく御願ひ申し上げます。

副院長  
平井 収  
Osamu Hirai



新年おめでとうございます  
神鋼病院では、昨年春に脳神経外科の体制が一新され、新しい血管撮影装置の導入、CCU(冠動脈疾患集中治療室)やSCU(脳卒中集中治療室)の開設など、脳卒中や心疾患への救急対応能力が一段と向上し、徐々に成果が現れつつあります。  
さらにいろいろな分野における講習会や患者教育プログラムなど、真の意味での地域医療に貢献する病院として、機能を充実させたいと考えております。  
ただ上を目指すだけでなく、常に患者目線に立った分かりやすい医療を心掛けますので、今年もよろしくお願ひ致します。

あけまして  
おめでとう  
ございます

管理部長  
篠宮 裕  
Yutaka Shinomiya



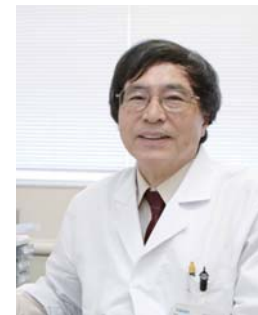
「地域とともに歩む」  
明けましておめでとうございます。  
我が国の置かれた状況は、政治・経済ともに明るい材料に乏しく、その先行きは依然として不透明です。医療を取り巻く環境も、社会保障と税の一体改革で大きな方向性は示されたものの、具体的な過程についてはこれからの状態です。  
そのような中で、我々神鋼会は、地域に貢献し信頼される病院を目指すとの理念を再確認し、地域医療連携病院・県指定がん診療連携拠点病院としての使命を全うして、地域に必要とされるように更なる努力をして参ります。引き続き宜しくお願ひ致します。

看護部長  
本田 美恵子  
Mieko Honda



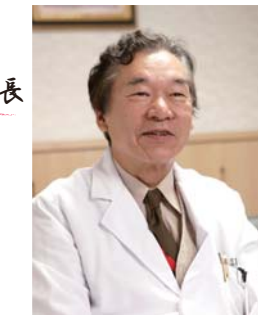
「巳年はレッツ！トライ」  
明けましておめでとうございます。  
2012年もあつという間に過ぎ、新年の巳年を迎えました。巳という字は胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を現しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があると紹介されています。  
何かを始めるのに「今さら」とか、「もう年だから」と自分に言い訳しないで、巳年の今年こそは何かに取り組む、何か始めるチャンスと受け止めようと考え、阪神大震災以後中断していた山歩きを再開しようかなと思っています。

血液病センター長  
高橋 隆幸  
Takayuki Takahashi



新年おめでとうございます。  
昨年度から病院全体の病床が窮屈になりましたが、患者さんの在院日数を短縮することで、入院が必要な方のほとんどを受け入れることができました。今年度はさらに、入院までの待ち期間短縮に努める所存であります。  
患者さんに対する最大のサービスは、診断と治療のレベル向上であると私どもは考えております。このための研鑽に努めると共に、所属の細胞治療室の技術(PCR:核酸増幅術やフローサイトメトリー:細胞表面マーカー分析)も最大限に生かしたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

膠原病リウマチセンター長  
熊谷 俊一  
Shunichi Kumagai



新年おめでとうございます。  
膠原病リウマチセンターがもうすぐ発足3年を迎えられるのも、皆様のお陰と心より御礼申し上げます。  
昨年4月には神鋼会総合医学研究センターと膠原病リウマチ研究所が発足し、臨床医学研究の推進と、一味違った医学医療を目指しています。  
個々の患者さんに有効性の高い薬剤を副作用なく使用するために、新しい治療法や検査(バイオマーカー)を積極的に取り入れ、患者さんのご協力を得ながらより良い臨床を実践してゆきます。ご支援よろしくお願ひ申し上げます。